



進路だより

令和4年10月31日発行
第2号

都立城東特別支援学校長
佐藤 亜紀子

<担当>進路支援部担当主幹 佐富 新吾

今回は進路・キャリア教育に関する二つの取り組みについてお伝えします。



<進路講演会について>

8月3日に都立江東特別支援学校からコーディネーターの教員と職能開発科の清掃担当の教員を招き、「高等部の教育について」の講演と清掃の実技体験を行いました。講演の様子につきましては、すでに動画配信を行い、多くの保護者の皆様に御視聴いただきました。ありがとうございました。

前半は、江東特別支援学校では類型に分かれて生徒の実態に応じた学習がなされていること、作業学習では卒業後を見据え「態度・意欲」「挨拶・返事」「作業能力」等を大切にして取り組んでいるとお話がありました。また、卒業後の進路先についても福祉園、就労継続支援施設、就労移行支援施設、企業就労等の違いを丁寧に説明してくださいました。中学部までに身に付けて欲しい力として「身辺処理（一人で、どこでもできる）」、「基本的生活習慣（清潔、食事、早寝早起き等）」、「手伝い」ができる力を育成してほしいということでした。

後半は、机の拭き方と自在ぼうきの使い方について、実際に体験しました。雑巾（タオル）の絞り方、持ち方、拭き方は無駄のない動作で感心しました。自在ぼうきは埃の立たない掃き方、塵取りの扱い方などを説明していただきました。

今回学んだことを日常の清掃や生活習慣を身に付ける活動、また係活動など、役割や社会性を意識した取り組みに生かし、高等部での生活や将来の自立を目指した進路指導へつなげていきたいと思います。



<清掃体験について>（中学部2年）

今年度より、中学部2年の作業学習は、「オフィスサービス班」になりました。

7月7日には、(社)東京ビルメンテナンス協会専門指導員の方を招き、ダストクロスやスクイージー、小型掃除機の体験をしました。指導員の方々には丁寧に御指導いただき、生徒たちは一生懸命に取り組んでいました。今回教えていただいたことを生かしながら、これからの活動を進めていきたいと思います。

